

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-017

PDCA	事務事業名	浜池堤体改修事業	部課等名	建設部土木課 建設担当	担当	鵜飼		
					内線等	437		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 5. 治水・排水対策						
		単位施策： (1) 河川・ため池の能力強化						
		個別施策： ②洪水調整施設の拡充						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	浜池堤体の安全確保						
	目的を達成するための手段・活動内容	浜池堤体の安全性を確保するため、補強や遮水処理等の改修を実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①実施設計			1	0	箇所	
		②堤体改修工事			0	1	箇所	
		事業費			4,471	30,992	千円	
		人件費			1,059	1,234	千円	
		総事業費			5,530	32,226	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①実施設計1箇所当たりのコスト			5,530	0	千円		
	②堤体改修工事1箇所当たりのコスト			0	32,226	千円		
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①事業進捗率	実績値		8.0	100.0	%	
			目標値		8.0	100.0		
		実績値						
		目標値						
		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B						
		ため池堤体の改修工事を完了させ、堤体の安全性を確保することができた。 今後は、ため池の水位調整を適切に行い、浸水被害等の災害リスクの軽減に努める。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了						
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位		